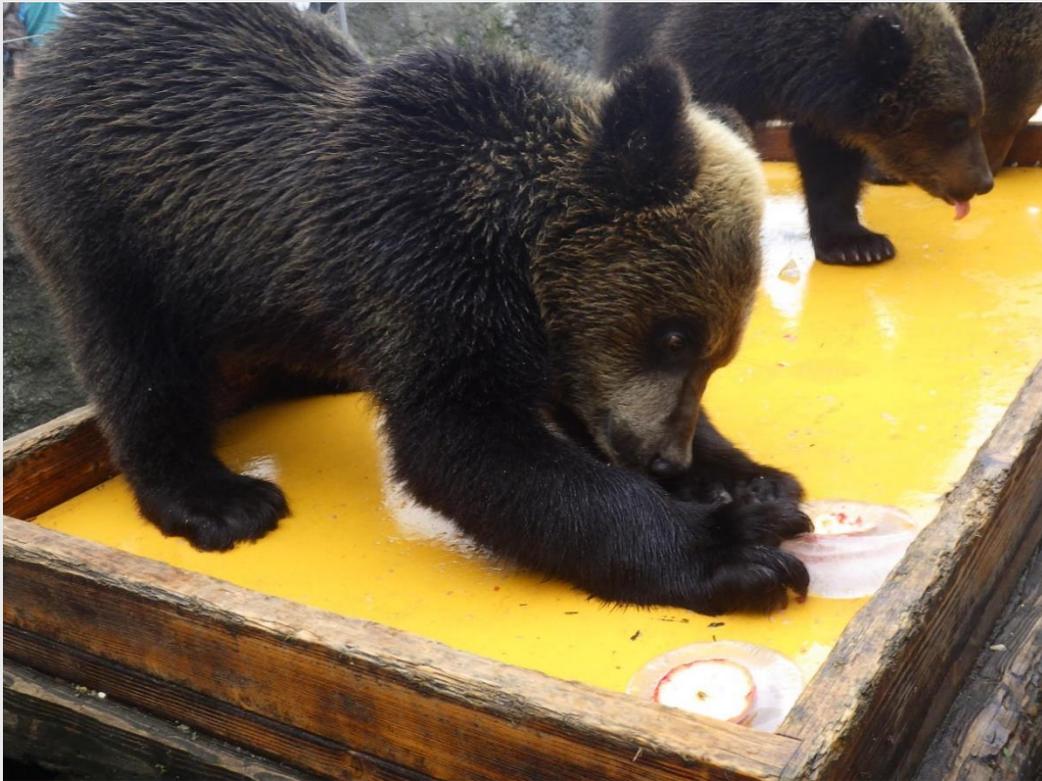


# 今年も開催！ガリガリタイム！！



リンゴ入りの氷に果敢に挑むキスケ=8月14日

## 飼育員は見たべあ！

のぼりべつ  
クマ牧場通信  
75号

2023年  
9月1日

発行

のぼりべつ  
クマ牧場  
動物課

暑い夏を  
冷たい氷で乗り切れ！

8月は、夏の恒例イベント「子グマの氷中果物ガリガリタイム」を開催しました！

今年生まれの子グマ5頭にとっては初めて見る氷でしたが、リンゴに気が付くとすぐに食べ始めました。初日から両前肢を上手に使って氷に埋まったリンゴを食べており、飼育員も感心していました。子グマは初めて見る物を警戒することが多いのですが、今年の子グマたちはとても好奇心旺盛で、なんでもチャレンジ！という印象があります。でも氷中のリンゴがなかなか取れないと、飼育員に近づいてきて「お昼ごはんはまだ？」と辺りをうろつきはじめます。その中でもクリンは、氷の中のリンゴを最後まで一生懸命爪を使い、食べ終えた後もガリガリと氷を噛んでいました。エフは、氷を少し食べるとすぐに飼育員に寄っていつたり、リンゴを自分の好きな場所に持っていつてから食べたりにして、個性豊かな5頭の可愛らしい姿を皆様にご覧いただきました。9月は、土日祝に「子グマのハンティングタイム」を開催します。子グマが全力で魚をハンティングする様子をぜひご覧ください！

秋期も開催！！  
クイズラリー！



8月には新しいイベントとして、クイズラリーを開催しました。沢山のご参加ありがとうございました。そして、第2弾として早くも10月から秋バージョンのクイズラリーを行います。園内に設置された5問のクイズに全問正解すると、抽選で70名様にオリジナルグッズが当たります。スマートフォン1つで参加可能！園内に設置してある二次元コードを読み込むだけで、無料で参加できます。（※注：賞品の発送先は日本国内のみ）クマ牧場へお越しの際は、クマだけではなくリスやアヒル、更にはアイヌ文化など、楽しく学びながら昨日の自分より少し賢くなってみませんか？たくさんのご参加を、お待ちしております！



# 閉園後の飼育員のお仕事



飼育員の仕事は、動物の飼育だけでなくありません。今回はお客様がお帰りになった、閉園後の飼育員の仕事をご紹介します。

閉園の時間になると、展示場内のクマたちを獣舎に戻す作業が始まります。日中たくさんオヤツをもらったクマを収容するのはちょっと大変です。その後は、園内の清掃、展示場内の掃除、新たな浮き球設置など、様々な作業を行います。



牧場内のフンを水で洗い流す飼育員

また、それらの作業以外に、ヒトのオリの窓磨きや、展示場内のコンクリートのヒビ割れ補修、草むしりなど、クマが展示場内にいる間はできない作業も行う事があります。それに加え、宿直の仕事もあります。夜間にトラフルや、地震などの災害があった時に瞬時に対応できるよう、当番制で山頂の不測の事態に備えています。



ヒトのオリの窓磨きをする飼育員

## ナナおばあちゃんのご隠居生活

ツキノワグマのナナも、他のヒグマ同様に換毛期を終え、最近夏毛に変わります。この時期は定期的に、葉っぱのたくさんついたヤナギの木の小枝を与えています。ナナはすぐに葉から食べ、その後は枝をかじって遊ぶ様子も見られます。



お昼寝が大好きなナナは、中は獣舎の中で寝ていることも多くみられます。また、獣舎の清掃を行うために移動した先の場所では、周りのにおいを嗅いだり、隣の獣舎にいるエゾヒグマのシヨコラを扉の隙間から覗いたり、アクテイブな様子も見られます。隣を覗いている時は、互いに静かに見つめ合っている様子です。

今後もSNSなどでナナの様子も伝えていきたいと思えます。



エサ皿にあごを乗せるナナ  
=8月18日



○ペンネーム 光太郎 様

Q クマは全部で何頭いますか？

A のぼりべつクマ牧場では、現在74頭のクマ達が暮らしています。そのうち、エゾヒグマが70頭、亜種不明のヒグマが3頭、ツキノワグマが1頭います。

年齢は、下は今年生まれた0歳の子グマから、上はなんと36歳のおばあちゃんクマまでいます。(飼育下でのエゾヒグマの平均寿命は30年前後)

個体の健康管理などのために1頭1頭に名前が付けられており、飼育員は毛の色や顔の特徴、体の大きさなどから個体識別をしています。クマの性格や行動も74通りあり、毎日見ても同じ事は無く、大変興味深いです！



歴代最高齢36歳のエゾヒグマ「マケンコ」

## 今月の一食

くま  
しぶき上げ  
猛暑に負けず  
レスリング

